

## 平成29年度 上下水道局 経営方針

上下水道局では、平成28年4月に策定した「北九州市上下水道事業中期経営計画（計画期間：平成28～32年度）」に基づき、着実に事業を推進することで市民サービスの水準を確保しつつ、上下水道料金の現状維持に努めます。

具体的には安全・安心なまちづくりの推進のため、老朽管・施設の計画的な更新、耐震化、さらには「連携中枢都市ビジョン」に掲げる上下水道事業の広域化への取り組みを強化します。

また、平成30年度には下水道事業が100周年を迎えることから、そのプレイベントなど様々な機会を通じて、下水道の果たす役割について市民へのPR事業を実施します。

### ■ 重点的に取り組むもの

- 災害等の危機管理対策
- 経年化施設の更新・長寿命化
- 安全・安心でおいしい水の供給
- 環境負荷の低減
- 国内外に貢献する上下水道

## 【上水道事業会計】

### 〈水道事業〉

- 収益的収支は、12.5億円の黒字
- 単年度資金収支は、2.0億円のマイナス  
(累積資金剰余 54.3億円→52.3億円)
- 企業債残高は、5.9億円の増(605.5億円→611.4億円)

### 〈水道用水供給事業〉

- 収益的収支は、0.1億円の黒字
- 単年度資金収支は、0.4億円の黒字を確保  
(累積資金剰余 △3.2億円→△2.8億円)
- 企業債残高は、1.6億円の縮減(43.6億円→42億円)

## 【工業用水道事業会計】

- 収益的収支は、2.5億円の黒字
- 単年度資金収支は、2.1億円のマイナス  
(累積資金剰余 17.8億円→15.7億円)
- 企業債残高は、0.1億円の縮減(26.4億円→26.3億円)

## 【下水道事業会計】

- 収益的収支は、3.4億円の黒字
- 単年度資金収支は、3.6億円のマイナス  
(累積資金剰余 28.8億円→25.2億円)
- 企業債残高は、33.7億円の縮減(1,662.2億円→1,628.5億円)

## 平成29年度 上下水道局予算 主要事業

### (1) 災害時の危機管理対策

大規模な災害などが発生した場合でも、安全で安定的な給水や下水処理を行えるよう、防災・減災の観点から、施設の耐震化やバックアップ機能の強化を推進します。また、近年の集中的な豪雨に起因する浸水被害の危険性が高まっていることから、浸水に対する安全度の向上を図ります。

|    |  |
|----|--|
| 継続 | <p><b>■水道の震災対策推進事業</b> <span style="float: right;">5,858,292千円</span></p> <p>地震などの災害に対して、被害を最小限にし、早期に機能回復が図れる災害に強いライフラインを構築するため、水道管路や浄水場・配水池の耐震化を計画的に実施するとともに、送水管の2条化整備などによるバックアップ機能の強化にも取り組みます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・浄水場・配水池の耐震化 <span style="float: right;">361,868千円</span><br/>穴生浄水場や別所配水池の耐震化工事など</li> <li>・水道管路の耐震化 <span style="float: right;">4,950,000千円</span><br/>配水管等の耐震化</li> <li>・バックアップ機能の強化 <span style="float: right;">546,424千円</span><br/>井手浦系配水本管 L=70m など</li> </ul> |
| 拡充 | <p><b>■下水道の震災対策推進事業</b> <span style="float: right;">2,400,000千円</span><br/>(うち拡充分100,000千円)</p> <p>地震などの災害に対して、被害を最小限にし、早期に機能回復が図れる災害に強いライフラインを構築するため、ポンプ場の耐震化を計画的に実施するとともに、緊急性の高い重要な管渠の耐震化にも取り組みます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ポンプ場の耐震化 <span style="float: right;">1,040,329千円</span><br/>城野ポンプ場耐震補強工事など</li> <li>・下水道管渠の耐震化 <span style="float: right;">1,359,671千円</span><br/>門司港新町遮集幹線管渠更生、井堀西港主要幹線管渠更生<br/>千防三丁目管渠更生、大字修多羅地内外管渠更生など</li> </ul>  |
| 継続 | <p><b>■豪雨対策推進事業</b> <span style="float: right;">3,600,000千円</span><br/>(合流改善事業の一部を含む)</p> <p>近年の集中的な豪雨など雨の降り方の変化により、市内でも浸水被害の危険性が高まっていることを踏まえ、雨に強いまちをつくるため、浸水被害を最小化し、浸水に対する安全度の向上を図ります。</p> <p style="padding-left: 20px;">下吉田一丁目・曾根新田14号・沼南雨水幹線、<br/>真名子二丁目地内雨水排水ポンプなど</p>  |
| 新規 | <p><b>■寒波対策事業</b> <span style="float: right;">11,495千円</span></p> <p>-2℃以下の寒波予報が出された場合に、高台地区にある空き家の元栓を閉めます。加えて、宅地内水道管の点検・診断業務を漏水調査に併せて行い、未然に漏水を防止します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・空き家漏水防止対策</li> <li>・宅地内水道管の点検・診断業務</li> </ul>  |

## (2) 経年化施設の更新・長寿命化

高度経済成長期に整備した施設の多くが更新時期を迎えることから、可能な限り長寿命化を図ります。また、更新に際しては、将来需要を考慮しながら、施設規模と機能の最適化を図り、重要度・優先度を踏まえた効率的・計画的な更新を行います。

|    |  |
|----|--|
| 拡充 | <b>■水道施設の改築更新事業【一部再掲】</b> <b>6,614,500千円</b><br>(うち拡充分165,431千円)<br>経年劣化が進んでいる導送配水管や電気・機械設備機器等の浄水施設の更新を計画的に行います。<br>・配水管等の更新《再掲》 <b>4,950,000千円</b><br>配水管更新(L=50.0km)、導送水管更新(L=1.9km)<br>・浄水施設等の更新 <b>1,664,500千円</b><br>本城浄水場および穴生浄水場中央監視制御設備更新工事 など |
| 拡充 | <b>■工業用水道施設の改築更新事業</b> <b>713,357千円</b><br>(うち拡充分164,259千円)<br>経年劣化が進んでいる工業用水道管や電気設備等の更新を行うとともに耐震化を推進し、安定給水の向上を図ります。   |
| 継続 | <b>■下水道施設の改築更新事業</b> <b>3,700,000千円</b><br>財政的制約の中で、下水道の機能を将来にわたり、安定かつ継続的に確保するため、下水道施設を適切に維持管理し、施設の状況を的確に把握しながら、適宜施設の改築更新を進めます。<br>皇后崎浄化センター中央監視設備改築工事<br>藤田ポンプ場電気計装設備改良工事 など  |

## (3) 安全・安心でおいしい水の供給

いつでも安全で良質な水道水をお届けできるよう、水源水質の保全や直結給水の普及促進などに取り組みます。

|    |   |
|----|---|
| 継続 | <b>■アクアフレッシュ事業</b> <b>16,000千円</b><br>子供たちの直接蛇口から水を飲む文化を育むため、市立小中学校等の直結式給水への切り替えを促進します。     |
| 継続 | <b>■遠賀川の水質改善対策</b> <b>9,600千円</b><br>遠賀川流域の水質・環境の改善を図ることを目的とする住民団体等による環境保全活動などに対して支援を実施します。 |

## (4) 環境負荷の低減

水や資源の循環と低炭素化を進め、より良い環境づくりに貢献します。

|    |   |
|----|---|
| 継続 | <b>■合流式下水道の改善推進</b> <b>2,300,000千円</b><br>下水道法施行令で定められた期限(平成35年度末)までに放流先の汚濁負荷を分流式下水道並みに軽減し、良好な水環境をつくります。<br>桜町北湊雨水貯留管、天籟寺初音町主要幹線<br>牧山川雨水幹線、東中島ポンプ場滞水池 など |
|----|---|

継続

■省エネルギー対策整備事業 29,479千円

省エネ機器の導入や送水ポンプの適正化などにより、エネルギーロスを減らし消費電力の削減を図ります。

- ・送水ポンプ等更新工事 など

新規

■水道メーター再資源化事業 3,000千円

本城リサイクルプラザを活用し、使用できなくなった水道メーターを分解・選別した上で、再資源化を図ります。

## (5) 国内外に貢献する上下水道

本市の持つ高い上下水道技術を積極的に国内外で活用するとともに、上下水道事業の広域化や海外水ビジネスを通じて、国内外の上下水道に関する課題解決や地域産業の振興に貢献します。

継続

■水道事業の発展的広域化 968,974千円

発展的広域化による連携を推進するため、周辺地域を「北部福岡地域」「遠賀川流域地域」「市南部地域」「市東部地域」の4ブロックに分けて、関係機関等との広域連携の検討などを進めると同時に、広域化についてのセミナーを開催します。

平成28年度から開始した宗像地区事務組合の水道業務の包括受託では、引き続き、宗像地区事務組合の負担で水道施設の運転や維持管理、料金徴収などを実施します。

- ・宗像地区水道施設維持管理等業務委託
- ・**新** 広域セミナー など

継続

■海外事業の展開 160,961千円

アジアを中心とした国や地域への職員派遣や、海外からの研修員受け入れによって、現地の技術者の育成に貢献するとともに、国際技術協力を通じて、本市職員の技術の継承や実務能力の向上などの人材育成にも寄与します。

また、「**新**北九州ウォーターサービス」や「北九州市海外水ビジネス推進協議会」との連携を図り、地元企業の水ビジネス展開を積極的に支援します。併せて、水ビジネスの国際戦略拠点を活用し、地元企業の技術・製品を国内外に広く情報発信します。

新規

■下水道100周年記念事業(プレ100周年) 12,080千円

平成30年度に、下水道事業に着手して100周年を迎えることから、記念事業などを通じて、お客様に下水道の果たす役割や重要性について理解を深めていただき、下水道事業のさらなる発展につなげます。平成29年度は、「プレ100周年」として、「下水道100周年」を積極的にPRしていきます。

また、地元の高校生を対象に、市内の上下水道施設の見学・研修や姉妹都市であるカンボジア国での現地視察・人的交流などを行うことで、上下水道事業に対する理解促進を図ります。

- ・**新** 下水道100周年記念事業(プレ100周年)
- ・**新** 上下水道ユース人材理解促進事業